



▲道場での稽古

私は20才の時に少林寺拳法入門。「正しいことは正しい」と言い、最後まで諦めないでやり通せる強い自分になりたいと思ったからです。いつかは自分と同じような青少年を育てたいと願うようになり、ついに50才で刈谷南道院を設立することができました。設立の後押しをしてくれたのは、全盲の少年K君。音や触覚などに対する能力は素晴らしい、全盲であることを気にせずに稽古ができるようになり、「障害は身体や能力にあるのではなく、人の心

か？  
一緒に少林寺拳法をやってみませんか？  
始めたいと思った時がチャンス！  
一歩に少林寺拳法をやってみませんか？  
幼児（年中）から高齢者まで、誰もが親しみ楽しむことが出来る少林寺拳法。地域から信頼され、愛される団体でありたいと願っています。

の「中にある」と気づきました。身体にハンディを持った人も持つていない人も、誰もが素晴らしい可能性、能力を持つていて信じています。  
少林寺拳法を通じて自分の可能性に気づき、自信と勇気と行動力を兼ね備えた人を育てたいと思っています。自分と同じように、他人の幸せを考えることができる人づくりの場として刈谷南道院があります。



▲米田道院長の演武

三味線奏者  
山口晃司さん来場！！



イベント告知

日時 2016年10月23日(日)  
18時～演武会 19時～演奏会  
場所 刈谷南道院  
(刈谷市高須町1-9-5)  
料金 無料 定員100名程度  
申込 不要(直接お越し下さい)

稲生奈子



少林寺拳法の教えは、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」とお聞きしました。この教えはボランティア精神そのものだと感じました。この道院では年齢は関係なく、みんな一緒に修練をしていました。その中で縦の繋がりを学び、年上の人との接し方、年下の子の面倒の見方を自然と身に付けていくんだなと思

今回ご紹介するのは...

# 刈谷南道院

少林寺拳法の精神は、修練を通じて自信と勇気と行動力を身につけ、慈悲心と正義感を持った心身共に強い人を育成し、自分だけではなく相手のことも自分と同じくらい大切に考え行動し、社会の平和と福祉に貢献することです。今回は刈谷南道院の道院長の米田正寛さんに活動を紹介して頂きました。

市民活動団体の今を紹介する  
**クローズUP**  
No.002



▲熊本地震復興支援街頭募金活動

【刈谷南道院の沿革】

- 平成17年11月 依佐美中学校とデンソー高棚製作所で活動開始  
地域のボランティア活動開始
- 平成18年 7月 依佐美中学校と小垣江市民センターに会場変更
- 平成18年10月 刈谷南道院として認可
- 平成22年 6月 高須町に専有道場を確保し新たなスタート
- 平成23年 3月 国内・海外への被災地復興支援活動を開始
- 平成23年 4月 被災地復興支援チーム「つながろう日本」の発足

活動内容

私たちは次の活動を行っています

1. 心身を鍛えるための修練(少年部・学生部・一般部) 各3回/週
2. 保護者参観及び懇談会、演武発表会 各1回/年
3. 車イス清掃点検活動 2回/年、地域環境保全活動 1回/年
4. 復興支援街頭募金活動、被災地の復興支援活動など随時実施
5. 会報「達磨だより」 毎月発行



▲福祉施設の車イス清掃点検活動

お問い合わせ

住所: 刈谷市小垣江町西高根60-17 連絡者: 米田正寛(道院長)  
電話: 090-7861-3823 Fax: 0566-25-1840 E-mail: komekome@katch.ne.jp  
URL: <http://opacho10583.wixsite.com/kariyaminami>  
<http://shorinji-aichi.jp/wp/112772/>